

工業「土木構造設計」(選択科目)	単位数	2単位
	学科・学年	土木科・第3学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	1 土木構造物のあらましを理解する。 2 鋼構造物や鉄筋コンクリート構造の基本的な設計方法を学習する。
使用教科書・副教材等	土木構造設計 (実教出版)

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学期	学習内容	月	学習のねらい	考查範囲
1 学期	1 土木構造物のあらまし 2 鋼構造物の設計 (1) H形鋼を用いた道路橋の設計 (2) プレートガーダー橋の設計	4	・鋼材とコンクリートの性質や、設計に用いる荷重について学習する。	中 間
		5		
		6	・H形鋼を用いた道路橋の構造と設計方法について学習する。	期 末
		7	・プレートガーダー橋の構造と設計方法について学習する。	
2 学期	3 鉄筋コンクリート構造物の設計 (1) 鉄筋コンクリート柱 (2) 鉄筋コンクリート長方形梁 4 基礎・土留め構造物の設計 (1) 構造物の種類 (2) 直接基礎の設計	8	・課題により理解を深める。	中 間
		9	・鉄筋コンクリート柱の構造と設計方法について学習する。	
		10	・鉄筋コンクリート長方形梁の構造と設計方法について学習する。	
		11	・基礎・土留め構造物の種類について学習する。	期 末
12	・直接基礎の構造と設計方法について学習する。			
3 学期	(3) 杭基礎の設計	1	・杭基礎の構造と設計方法について学習する。	学 年 末
		2		

(2) 評価の観点及び内容

関心・意欲・態度	・学習活動へ積極的に参加しているか。 ・授業の内容に対して、関心を持ち意欲的に学習しているか。
思考・判断・表現	・計算問題に関して正解できているか。 ・式の正しい使い方ができているか。
技能	・授業内容をノートに見やすくきちんとまとめているか。 ・各土木構造物の構造や設計方法を理解しているか。
知識・理解	・授業中の発問に対する受け答えが的を得た答えになっているか。 ・授業中行う確認テストができているか。 ・長期休業中の課題を正確に解答し提出しているか。
・学習の状況は、上記の4つの観点で評価する。具体的には(出席状況・授業中の態度・確認テスト・提出物・定期考査)により、1年を通して総合的に判断します。	

3 確かな学力を身に付けるためのアドバイス

<ul style="list-style-type: none"> ・授業中は集中してください。もし、解らない箇所があればその日のうちに質問してください。 ・授業ノートを考査の区切りごとに提出してください。また、課題を長期休業中に出します。提出期限に遅れないように注意してください。
--